

平成 17 年 10 月 5 日

～最後の運動会は地元の手で開催～

生徒数 10 名の長崎中学校運動会

来る 10 月 9 日（日）、豊島区立長崎中学校（小林秀隆校長 生徒数 10 名）で、運動会が開催される。長崎中学校は、平成 18 年 3 月 31 日に閉校、4 月より明豊中学校に統合されることが決まっているため、今年の運動会は最後の運動会となる。

日 時 10 月 9 日（日） 9 時 30 分～12 時 30 分

※参加受付 8 時 45 分～9 時 20 分

場 所 豊島区立長崎中学校 校庭（豊島区南長崎 4-13-22）

雨天の場合は 10 月 10 日（月）に順延

長崎中学校の全校生徒数は 10 名、全員が 3 年生である。少子化により、年々生徒が減少したことに加え、昨年度からは、学校統廃合の計画が既に決まっていたため新入生の受け入れをしなかったことによる。毎年秋に運動会を行っているが、運動会の競技の中には、生徒数が少ないためできない種目も出てくる。そこで、最後の運動会を、地域住民が中学生と一緒に参加する「地域の運動会」として実施しようと、学校と地元町会が連携して運動会の企画、準備を進めている。運動会実行委員会の役員には、実行委員長である南長崎四丁目町会佐々木健雄町会長をはじめ、地元の町会長、青少年育成委員会会長、同窓会長が就任。学校行事のひとつである運動会の運営は、学校の教職員が行うのが通常であり、このような地域主体で企画、実施する運動会の開催は、都会ではあまりみられない。

当日は、中学生も地域の参加者も一緒になり、紅白のチームに分かれての対抗戦を行う。最終競技である 3 年生による紅白対抗リレーを除いては、ほとんどの競技に地域の方々が出場する。「綱引き」「大縄跳び」「大むかで」といった選手が大勢出場した方がよりいっそう盛り上がる種目や、「風船割り競争」「玉入れ」といった誰もが参加しやすい種目が様々用意されている。今回ならではの競技として行われるのは、「全員リレー」。この種目は紅白チームを離れて、「生徒チーム」「教員チーム」「地元チーム」「教育委員会チーム」の 4 チームで競う。それぞれのチームが威信をかけて走る。

実行委員会では、最後の運動会にできるだけ多くの卒業生や地域の方々に参加してもらいたいと、ご案内を出すなど地元と呼びかけをしている。地元を離れた卒業生にもぜひ参加してほしい。参加申込みは開催日当日でも可能で、8 時 45 分から 9 時 20 分まで受付を行う。

昭和 22 年 4 月に創立以来 59 年間、地域に親しまれ愛されてきた長崎中学校ならではの思い出深い運動会となるにちがいない。

詳細：教育改革推進課